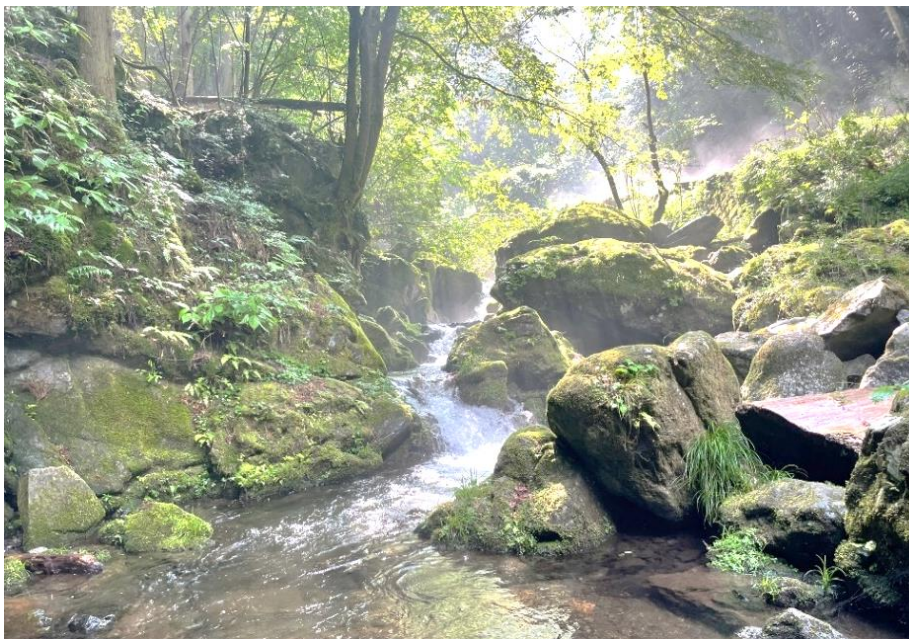




清流無間断

せいりゅうかんだんなし

清らかな川の水が絶え間なく流れる様子に、涼しさを感じられる季節の到来です。

しかし、野外活動を行う上で天候の急変に最も注意が必要な季節となります。事前に、場所や天候、緊急時の避難場所等を確認し、服装や装備を準備しましょう。

また、自然や訪れる地域が絶え間なく続いていくことで、私たちは自然の恵みを得ることができます。自然や地域に配慮した行動をお願いします。

自然発見

イラクサとアカタテハ

イラクサ

[イラクサ科]

山地の木陰や水辺などに生える多年草。

茎葉に棘があり、触ると激しい痛みが出ることから棘草(イラクサ)の名がある。

アカタテハ

[タテハチョウ科]

日本各地の、平地から山地の明るい草地に生息する。

市内では、春から秋にかけて見られる代表的な蝶として知られている。



①



②



③



④

イラクサの周りを忙しく飛び回るアカタテハ(①)。時折、お尻を茎葉にくっ付けるような行動をしていたので、飛び立った後、イラクサの棘に注意して観察してみると…たまなのか?! 棘に産み付けられた卵を発見!(②) 周辺には、既に孵化した幼虫がいました(③)。

じつは、アカタテハの幼虫は葉を2つに折りたたんで巣を作り(④)、成長に合わせて新たな巣を作るのです。先ほ

どの幼虫は、正に巣を作り始めたところだったのでしょうか。よく見ると、幼虫が口から出した糸で葉の両端をぬい合わせたように見えます(③の矢印)。

巣をよく見ると、下の方には幼虫のフンが積み重なっており、そこには生物の死骸や植物、フン等を食べるザトウムシの仲間の姿がありました(④の矢印)。

この時期にしか出会えない動植物を、自身の安全を確保しつつ自然に配慮して、ぜひ観察してみてください。
新たな発見があるかもしれません♪

第14期 森の子コレンジャー 始動



5月、コレンジャーが始動しました！
「自然が好き」という10名の仲間が集い、これから3月の終了式まで共に活動していきます。

5月は、共に活動していく仲間とレンジャー2名を知る一日を過ごしました。季節の自然を調査すれば、帰る頃には初めてとは思えない位、お互いを知ることができる。それが、自然好き仲間の良いところ♪

6月は、コレンジャーが代々整備を続けてきたビオトープの自然調査と山歩きでした。「ビオトープの整備を私もやりたい!」と、みんな手を挙げてくれたので、冬に実施する予定です♪

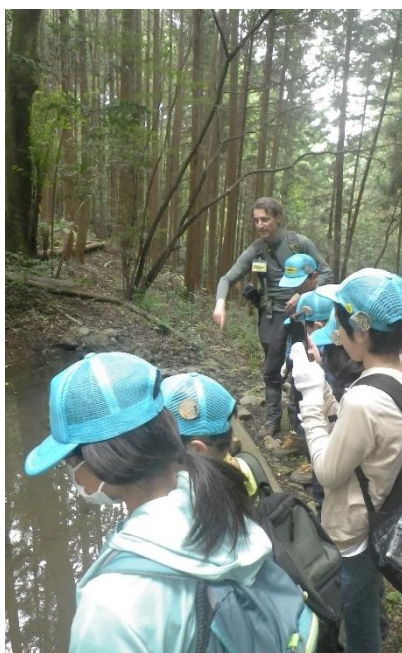
次回は9月。どんな夏を過ごしたのか報告し合えることも楽しみです！



リーダーがコレンジャーの心得を説明



季節の動植物観察



コレンジャービオトープに出会う



安全に山を歩く方法を知る



ニガイチゴの実

この時季に実るキイチゴの仲間。野生動物のフンにはキイチゴやクワの種子が混っていました。



キンモンガ

ヒラヒラと蝶の様に舞う蛾。美しい金紋のあるキンモンガに、みんな心奪われました♡



オオブタクサ駆除

下山中、市の管理地に重点対策外来種(※)のオオブタクサを発見したため、コレンジャーと駆除しました。

※ 生態系に甚大な影響が予想されるため、対策の必要性が高い外来種。